



令和元年9月30日
京都伝統文化の森推進協議会
事務局 京都市産業観光局農林振興室林業振興課
電話 075-222-3346

キクタニギクの花咲く 菊溪の森づくり

～東山菊溪の除伐活動～

本協議会では、東山菊溪にてかつて自生し、京都府レッドデータブック 2015 にて絶滅危惧種に区分されているキクタニギクの自生地復活に向け、平成28年度から多くの方の協力を得て、生育可能な明るい林内に整備する林相改善事業とともに植栽活動を実施しております。その結果、平成29、30年10月下旬には、キクタニギクの開花を確認できました。

今後も、キクタニギクの咲く明るく環境を保ち、東山の四季の彩りを将来にわたり感じられるよう、人の手が入ることが必要となります。

そこで、下記のとおり、東山菊溪での除伐活動を実施し、キクタニギクの生育環境を整える活動を実施しますので、御協力くださいますようお願いいたします。

記

- 日時** 令和元年11月6日(水)
午前10時～正午
※ 少雨決行，荒天中止
※ 決行の可否は前日午後5時に決定し、中止の場合は、御連絡いたします。
- 集合** 大谷祖廟（東大谷）参道
（東山区円山町477番地）
- 場所** 東山菊溪
（高台寺山国有林内）
- 主催**
京都伝統文化の森推進協議会
- 協力**
林野庁近畿中国森林管理局
京都大阪森林管理事務所



活動箇所概略図

6 申込方法

電話、FAX又は電子メールで、①氏名（ふりがな）、②年齢、③電話番号、④同伴者がいる場合は同伴者の氏名及び年齢を、事務局まで御連絡ください。

7 今後の予定

令和元年10月 菊溪地区での除伐活動に向けた歩道の条件整備
令和2年1月～3月 林相改善事業の実施

8 これまでの経過

平成28年11月 7日（月）	キクタニギク再生に向けた現地調査 市民参加により活動前の状況を確認
平成28年12月 6日（火）	第1回菊溪川の水生生物調査
平成29年 2月～3月	林相改善事業 コジイ、スギ、ヒノキ等 98本伐採
平成29年 2月28日（火）	第2回菊溪川の水生生物調査
平成29年 3月 4日（土）	第1回キクタニギクの植栽活動（キクタニギク50株） 京の苗木（イロハモミジ、ムラサキシキブ等）77本
平成29年 5月10日（水）	キクタニギク散策道の補修活動 市民参加により降雨等により浸食を受け、歩きにくなっている散策道を補修
平成30年 2月～3月	林相改善事業（コジイ、サカキ等 97本伐採）
平成30年 3月12日（月）	第3回菊溪川の水生生物調査
平成30年 3月17日（土）	第2回キクタニギクの植栽活動 キクタニギク100株
平成30年 9月 4日（火）	台風21号襲来により、風倒木が発生
平成31年 1月～3月	林相改善事業（台風被害木の整理）
平成31年 3月23日（土）	第3回キクタニギクの植栽活動（キクタニギク80株）



9 キクタニギクについて

日当たりの良い乾いた崖や山麓の土手などに生える多年草で、京都東山の高台寺山国有林を源流とする菊溪川にかつて自生していました。香料、傷薬や食用として利用されたほか、江戸期には本居宣長などの歌人に歌われるなど文化的な面もあります。

しかし、燃料革命以降、ガスや電気が普及されるにつれ、人々と森との関係が希薄になったことから、長年放置され、暗く鬱蒼とした森林となり、キクタニギクは、姿を消し、京都府レッドデータブック2015にて絶滅危惧種に区分され、「和名のもとになった京都市東山区菊谷では絶滅」と記されています。

京都伝統文化の森推進協議会では、林相改善事業に取組み多様な樹木が色づく価値ある森づくりを進める一環として、菊溪におけるキクタニギクの自生地復活に取り組んでいます。

（連絡先）

京都伝統文化の森推進協議会事務局 担当 藤原，三井
（京都市産業観光局農林振興室林業振興課内）

〒604-8571

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

TEL:075-222-3346, FAX:075-221-1253

e-mail: moriwo-mamorou@kyoto-dentoubunkanomori.jp